

7月上旬刊行予定

貴店番線印

冊

西洋能 男が死ぬ日 他2篇
テネシー・ウィリアムズ 著

ISBN978-4-88059-414-9 C0074 予価¥2000 四六判上製

而立書房

而立書房 7月上旬新刊のご案内 (委託受注〆切 6/20)

文学・演劇

テネシー・ウィリアムズ 広田敦郎 訳
西洋能 男が死ぬ日 他2篇
The day on which a man dies

対談「劇作家の見たニッポン」(三島由紀夫×テネシー・ウィリアムズ、1959年)も収録

四六判上製168頁 本体予価¥2000+税 ISBN978-4-88059-414-9 C0074

三島由紀夫との出会いから生まれた
日米の演劇要素を混交させた怪作!

「ガラスの動物園」「欲望という名の電車」「やけたトタン屋根の上の猫」で名高い劇作家テネシー・ウィリアムズの幅広い作風は、あまり日本では知られていない。50年代後半、テネシーは三島由紀夫と親交をもち、日本の芸術や文化に深い関心をよせていた。そして書き上げた戯曲が本邦初訳「男が死ぬ日」である。東京大学の学生で「自殺」にたびたび言及する作中人物「東洋人」のモデルは、あきらかに三島由紀夫であろう…。本書では、当時日本で行われた、三島由紀夫とT・ウィリアムズの歴史的対談(1959)も収録。同時期の短編戯曲「緑の目」「パレード」も収め、テネシー・ウィリアムズの知られざる側面を紹介する。

目次

西洋能 男が死ぬ日 / 緑の目 / パレード
対談 三島由紀夫×T・ウィリアムズ「劇作家の見たニッポン」
訳者あとがき

2019年9月5日～

すみだパークスタジオ倉
にて日本初公演

企画/製作/演出 ポビー中西

主演 ハリー杉山 ほか

テネシー・ウィリアムズ
(Tennessee Williams)

1911-1983。アメリカの劇作家。ミシシッピ州コロンバス生れ。1944年自伝的作品「ガラスの動物園」がブロードウェイで大成功し、47年の「欲望という名の電車」、55年の「やけたトタン屋根の上の猫」で2度ピューリッツァー賞を受賞。その名声の裏で、生涯背負いつづけた孤独との葛藤から私生活は荒れていた。ニューヨークのホテルの一室で事故死。

広田 敦郎(ひろた・あつろう)

京都大学文学部卒業後、劇団四季、TPTを経てフリーランスの翻訳家/ドラマタージュ。翻訳上演作品にトム・ストッパード作『コースト・オブ・ユートピア——ユートピアの岸へ』(第二回小田島雄志・翻訳戯曲賞)、テネシー・ウィリアムズ作『地獄のオルフェウス』など。

ご注文は 而立書房 まで
FAX 03-3292-8782

<http://www.jiritsushobo.co.jp>